

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	R8年1月 9日		～ R8年2月17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	R8年 2月16日		～ R8年 2月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○訪問先施設評価実施期間	R8年1月 9日		～ R8年2月17日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問の際のお子さんの支援の様子を、ご家庭へ細かく伝えるように心がけています。	・支援時の報告書は、取り組んだ内容を文章だけでなく、イラスト等を添え、保護者がイメージしやすく、わかりやすいものを作成するようにしています。また、ご家庭の状況に合わせながら、電話や来所等で、支援時の取り組んだ内容、様子をしっかりと時間をとり、お話しする事で、安心感に繋がってもらえる対応を心掛けています。	・支援の内容、様子等を伝えるタイミングの調整が、保護者の予定と、都合がうまくつかない時もあり、支援後から時間を置いてからの報告になってしまうことがあります。できるだけ、早めに報告を行えるよう、他の方法も検討していきたいと思っています。
2	児童発達支援の経験が、豊富なスタッフが、訪問先に伺っています。	・児童発達支援での経験を活かし、お子さんに関わっていく事と、集団生活の中で、困りごとが少なく生活できる方法を見つけていきたいと思っています。 ・訪問先での先生方から、日常の様子を聞き、学ばせてもらう事もとても多く、ヒントにさせてもらう事も沢山あります。支援の方法を広げて行きたいと思っています。	・発達支援の取り組み方法が、集団生活の中で取り入れやすい事、取り入れにくい事が、集団の人数や、大人の人数を考えた時に難しい物もあると思います。 訪問先が取り入れやすい、具体的内容を提案できるよう、今後も研鑽を重ねていきます。
3	ご家庭や訪問先とのコミュニケーションを取る事が共感的に支援を行う姿勢を大切にしています。	・訪問先やご家族と関係性を構築し、連携を図る事が、お子さんにとってよりより支援に繋がると考えています。色々なお話を聞かせていただいたり、様子を共有する中で、少しでも、一緒に困り事について考えさせてもらえる存在になっていけるよう、努めていきます。	・お話しをする時間を取ってはいますが、様々な先生方を交えて、ゆっくりお話やコミュニケーションをとる事には工夫が必要と思っています。方法を模索して行きたいと思っています。 ・困りごとに対して、お話を伺いながらも、訪問先の事情を考えた上で、取り入れやすい、そして具体的な取り組み、内容をご提案できるよう、研鑽していきたいと思っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援の内容や様子を時間をおかずに、保護者へ返していく事へ課題があります。	・現在は、電話や来所の方法で行っていますが、日程や時間の調整がうまくいかない事もあります。	・支援の内容を、早めにお知らせできるよう、ご家庭にあわせ、他の方法も検討していきたいと思っています。
2	訪問先の困っている事に対する、取り入れやすく、かつ具体的な方法の提案について課題があります。	・訪問支援の経験を積んでいる所もあり、集団生活の中で取り入れやすい具体的な方法の提案の未熟さがあります。	・専門性を高めていけるよう研鑽していきます。又、訪問先の事情を知っていく努力や、コミュニケーションを重ねていく事も継続して行っていきたいと思っています。
3	訪問先との情報共有の時間が取りにくい事に課題があります。	・訪問先と支援の前後にお話しするよう、心がけてはいますが、保育現場にご迷惑がかからない方法を模索しています。又、限られた時間の中で話す内容を工夫したいと思っています。	・活動内容を伝える以外に訪問先の先生方が聞きたい事や、質問がとれているか確認し、ご迷惑なら無理なく行える方法や、そのためにどのようなツールがいいか、検討、相談して行きたいと思っています。